

平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震における緊急地震速報の利活用状況について

平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震は、平成 19 年 10 月の緊急地震速報の一般への提供開始後、被害を伴う初めての地震であったことから、緊急地震速報(警報)を発表した岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県の地方公共団体、専用の受信端末を利用している学校や幼稚園、及び新聞等で利活用状況が報道された事業所での利活用状況について、各県の気象台が聞き取り調査を行った(利活用の回答、48 機関)。

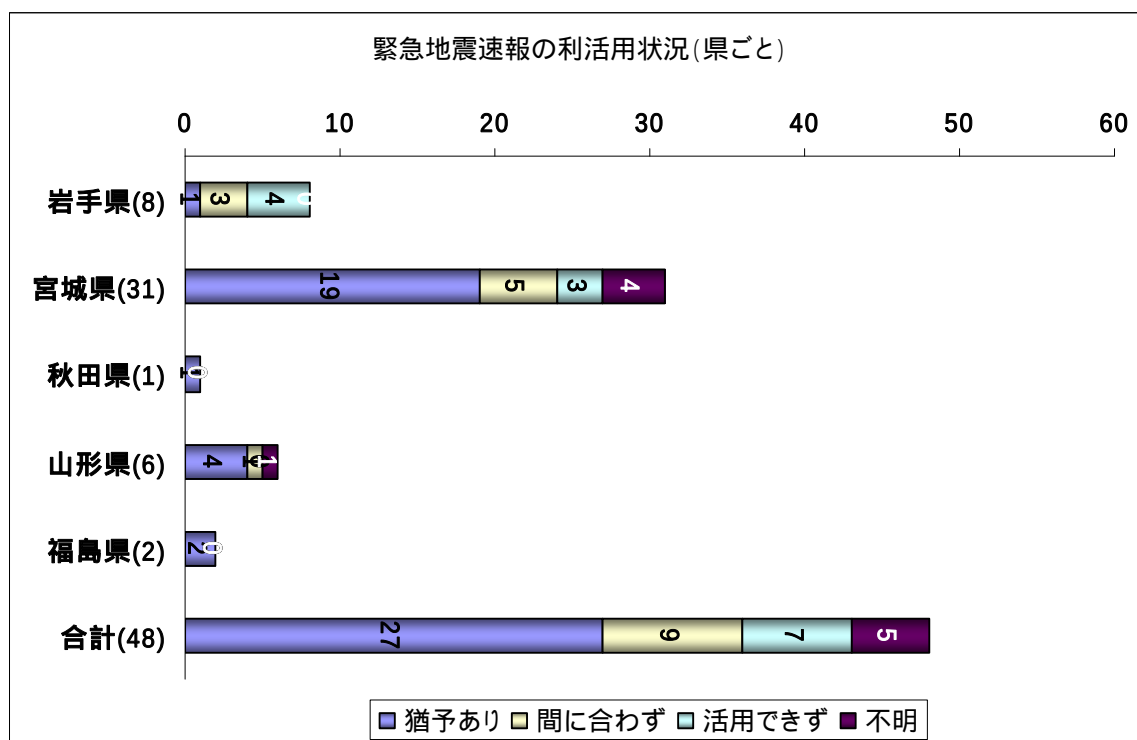
緊急地震速報を活用できたもの(猶予あり)、入手できたものの猶予時間がなかったもの(間に合わず)、運用前や障害などが原因で放送等の活用ができなかったもの(活用できず)、休日等のため専用端末が動作させず状況が不明のもの(不明)に区分した。

入手手段としては、総務省消防庁の全国瞬時警報システム(以下、J-ALERT)による受信及び防災行政無線による放送、専用の受信端末による受信及び館内放送等の他、テレビ、ラジオで知ったとする機関もあったが、地震発生が土曜日で閉庁、もしくは休業日でその数は少ない。

(1) 県別

岩手県では、他の県に比べて震源に近く猶予時間がないことから、活用事例が少ない。

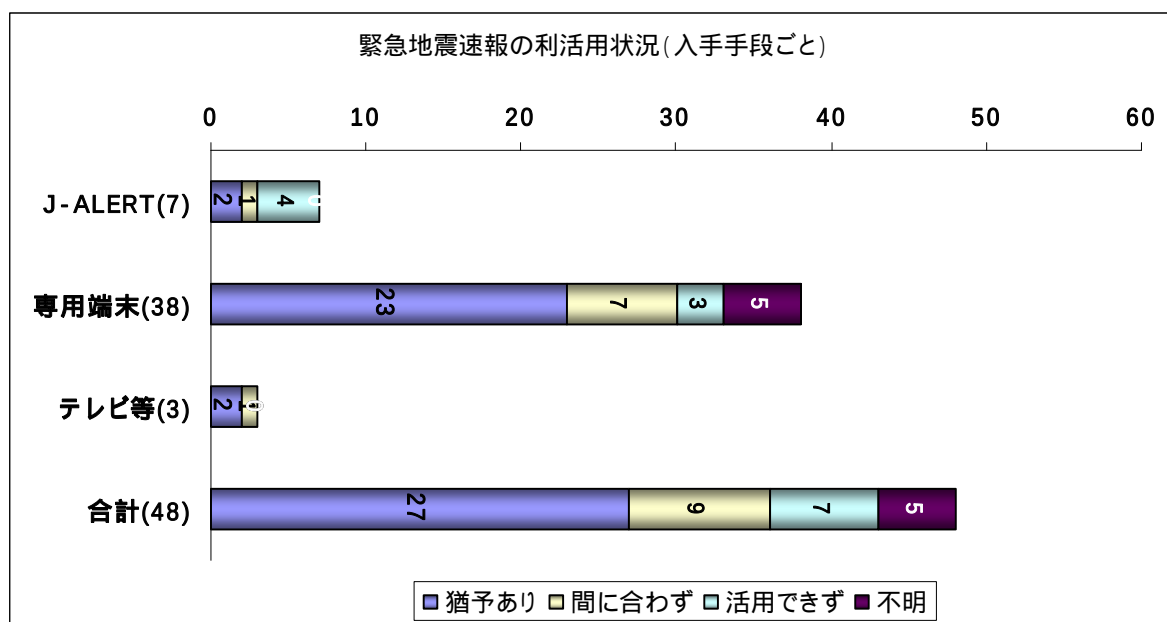
一方、震源から少し離れている宮城県では、猶予時間がある程度確保でき、また、専用の受信端末を整備した幼稚園や事業所等での有効事例が多い。



(2) 入手手段別

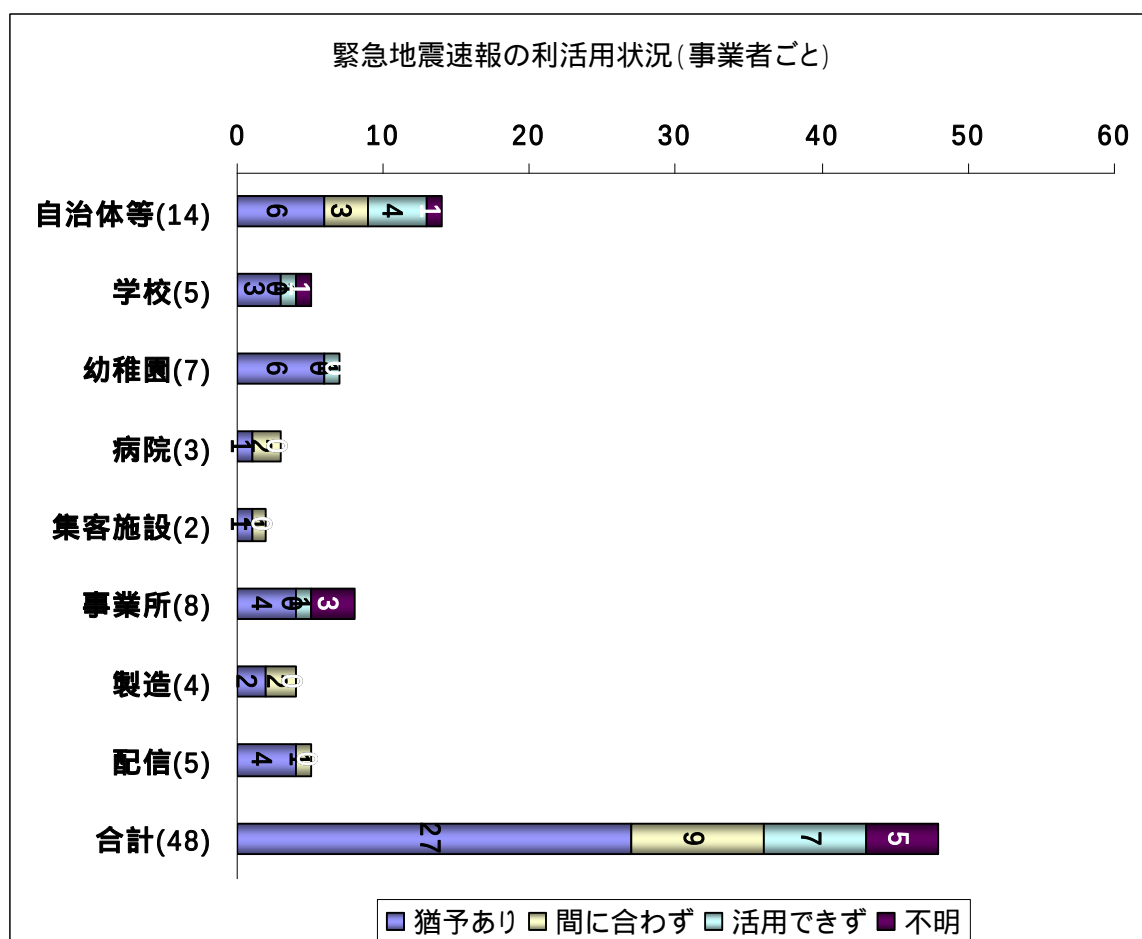
専用の受信端末を利用している場合は、有効事例が顕著である。

一方、J-ALERT については、猶予時間が少なく放送されない場合や放送が間に合わない場合があった。



(3) 事業種別

専用の受信端末を設置している幼稚園や保育所や事業所では、放送等により周知し、園庭や倉庫外に退避するなどして、園児や職員の身の安全確保を行っている。



(4) 具体的な利活用例

- ✓ 仙台空港(宮城県名取市)
表示器を参考に、管制官が航空機に対して上空で待機するよう指示した。
- ✓ 山形県庄内町
J-ALERT で受信し、防災行政無線で放送した。
- ✓ 幼稚園や保育所(宮城県仙台市 3 箇所、石巻市、大崎市)
専用端末で受信し、園児らを安全な場所に誘導し、身の安全を確保した。
- ✓ 幼稚園(福島県伊達市)
保育室内のテレビで知り、保育室内の園児を集めて、身の安全を確保した。訓練どおり行動できた。
- ✓ 中学校(宮城県白石市)
専用端末で受信し、校内放送が流れた。学校にいた生徒は、机の下にもぐって身の安全を確保した。
- ✓ 小学校(宮城県仙台市)
専用端末で受信したが、土曜日だったため、校内放送は流さなかった。職員が机の下に入ろうとしたが入れず、落下物に気をつけた。
- ✓ 製造関係(宮城県大衡村)
専用端末で受信し、また、自営の地震計も動作したことから、館内放送及びガスの緊急遮断を実施した。放送が S 波到達の 4.2 秒前だったため、退避行動をとろうとした際には大きな揺れが来たと思われる。
- ✓ 流通関係(宮城県仙台市)
専用端末で受信し、館内放送を実施。倉庫内にいた作業員に連絡し、屋外に退避。
- ✓ 岩手県久慈市
J-ALERT の運用直前だったため、防災行政無線での放送をしなかった。
- ✓ 岩手県釜石市
猶予時間が防災行政無線での放送開始に要する時間よりも短かったため、放送しなかった。
- ✓ 高校、幼稚園、印刷会社(宮城県仙台市)
専用端末で受信できなかった(原因不明、もしくは調査中)。

(5) 主な意見、感想

- ✓ 予測震度
 - ・ 余震の緊急地震速報が放送されたが、当地は震度が小さかったので、信頼性が損なわれるのではないかと感じた。(岩手県自治体)
 - ・ (予報の)第 1 報の予測震度が 3 であり、観測された震度(5 強)との差が大きく、対策が重要。(宮城県事業所)
 - ・ 予測震度の精度向上。(宮城県集客施設)
 - ・ 速報データの精度がもっと向上すると使いやすくなる。(宮城県製造工場)
 - ・ 発表までの時間短縮と精度向上を願う。(宮城県配信事業者)
- ✓ 地震計の増設(発表時間の短縮)
 - ・ 震源が近い間合に合わないのはやむを得ないが、地震計がもう少し密にあれば発表が早くなったのではないかと。(岩手県事業所)

- ・ 宮城県沖地震において活用できるよう、沿岸部や海底に地震計を設置願いたい。(宮城県自治体)
- ・ 速報から揺れるまでの時間をもう少し長くしてほしい。(福島県幼稚園)
- ✓ 報知音
 - ・ 大きな揺れが来るまで猶予がないことを実感した。速報のチャイムを聞いたらすぐに行動に移すよう強調した広報を行う必要があると思った。(岩手県自治体)
 - ・ 即座に緊急地震速報とわかるよう音声の統一化の指導をお願いする。(宮城県自治体)
- ✓ その他
 - ・ 大きな揺れに間に合わないという印象を持った人が多いのではないか。(岩手自治体)
 - ・ 日頃の訓練も活かされ、設置して本当によかった。(宮城県保育園)
 - ・ 猶予時間が少なかったが有効と感じた。(山形県自治体)
 - ・ 実際揺れない場合が多々あるが、たとえ数秒の猶予でも行動がとれるので被害軽減に必ずつながると思う。(山形県自治体)